

画像診断報告書

患者ID	〇〇〇〇-〇〇〇〇		
患者氏名	〇〇 〇〇 様 (男)	生年月日	19XX 年 XX 月 XX 日 (検査時 53 歳)
臨床診断	頸椎症性脊髄症		
検査目的	上記精査をお願いします。		
臨床情報	整形 △△ △△		
部位/モダリティ	頸部 / CT	検査日時	20XX 年 XX 月 XX 日 XX:XX
検査実施 医療機関	〇〇病院	造影剤	
依頼医/依頼科	/	病棟	
希望対応	通常		
読影担当医	〇〇 〇〇		
読影所見	<p>頸椎は軽度に直線化しています。変形性変化が認められ、骨棘形成が観察されます。C7/Th1 レベルでは著明な椎間板の狭小化があり、変形性変化も高度です。このレベルで C7 椎体は Th1 椎体上を軽度前方へすべっています。</p> <p>C6/7 および Th1/2 レベルでは、椎間板の狭小化がみられます。</p> <p>脊柱管は変形性変化があるにもかかわらず、比較的広く保たれています。</p> <p>その他、明らかな異常を認めません。</p> <p>＜二次読影医のコメント＞</p> <p>C3-C4 レベルで椎体後方正中に、わずかに石灰化を伴う結節陰影を認めます。</p> <p>石灰化の目立たない OPLL のようにも思います。MR での観察をお願いします。</p>		
読影診断	<p>・C7/Th1 レベルの変形性変化と軽度の前方すべり症。</p> <p>脊柱管は、変形性変化があるにもかかわらず、比較的広く保たれています。</p> <p>・C3-4 レベルでの OPLL の可能性</p>		

